



教えて区役所



第34回 カラス被害を防ぐために

札幌市には、毎年市民の皆様からカラス被害について多くの報告が寄せられます。今月は、カラス被害に遭わないための対策について、ご紹介いたします。

カラスを勝手に捕獲する」とはできません

カラスを含む野生鳥獣は、「鳥獣保護及び狩猟の適正化に関する法律」という法律により、原則として許可なく捕獲（卵の採取も含む）することが禁止されています。

カラスの繁殖期（4～7月）にカラス被害が多発します

4～5月ごろ、カラスは公園の高木、街路樹、電柱などに巣を作り、繁殖活動に入ります。6～7月ごろにはひなの巣立ちの時期を迎え、飛行訓練などが行われます。

この時期に巣の近くを人が通ると、カラスは巣やひなを守るうと威嚇行動や攻撃をします。カラスが「カット」と激しく鳴くのは威嚇行動なので、鳴き声が聞こえたら速やかにその場を離れましょう。



カラス被害を未然に防ぐ方法はあるか？

「ごみ出しのルールとマナーをきちんと守りましょう！」

カラスにとってごみステーションのごみは格好の食物となります。ごみの分別、マナーなどをきちんと守ることで、カラスの食物を減らし、増加を抑えることができます。

「カラスの巣に近づかないようにしましょう！」

カラスの巣がある場所、または威嚇する鳴き声が聞こえる場所には近づかないようにしましょう。どうしても巣の近くを通る場合は、帽子をかぶったり、傘を差すなど頭を防護してから通りましょう。

また、**公園の樹木や街路樹にある巣が原因で激しい威嚇を受ける場合は土木センターへご相談ください。**ただし、**個人や会社の敷地内に巣がある場合には、土地の所有者が対応することになります。**

お問い合わせ先

【公園や街路樹にできた巣について】
土木センター 維持管理課
☎(888)2800

【巣から落ちたひなの保護、有害鳥獣捕獲許可申請について】
みどりの推進部みどりの管理課
☎(21)2536

※「さあまちづくり」に替わり、今月から「白旗山からまちづくり」が始まります。



皆さんにとっての白旗山は？
～白旗山の魅力を考える会
参加者の意見紹介～

皆 さんは白旗山の標高をご存知ですか。答えは321.5メートル。数字の並びも良く、3・2・1・GOと語呂を合わせると、覚えやすいですね。

来年二月、ノルディックスキー世界選手権札幌大会が白旗山で開かれます。区ではこの大会に注目し、白旗山を活用したまちづくりを進めていきます。

区 民にとって白旗山はどんな存在なのでしょう。区では、まちづくり活動を実践している方などに日ごろ感じていることなどを聞いてみました。いくつかご紹介いたします。

◆きれいなチョウや大きなトンボ、キツネ、ウサギなどとにかくさまざまな生き物に

出会えるのが魅力。この自然環境を壊さない取り組みが必要。（会社員のAさん）

◆一年を通してスポーツやレジャーを楽しむことができる山。（学校教諭のBさん）

◆ほとほとの高さの山が近くにあるのがうれしい。山頂へのルートもいろいろあつて選べるのがよい。（スポーツボランティアのCさん）

そ れぞれこの山に関して思うことは多少異なりますが、これらの意見からは、自然豊かな白旗山を「癒しの場所」として感じられました。

白旗山を知る人、利用する人にとっては、心の休まる山なのですね。皆さんも行ってみませんか。



◀冬の白旗山で会ったエゾリス

区では白旗山をもっと知ってもらうため、このコーナーで白旗山の魅力やまちづくりの様子を伝えていきます。

【詳細】地域振興課まちづくり推進係 ☎(889)2400 内線228

広告欄